ちに歌聞の配置につけると就令

一番番記をしめ、知つて管際事がの能率を認め、行政遺憾の活動を認め、行政遺憾の活

統つてこれまでの官職を見る

民の光祭でなくてはならない。

東京

院

内閣・各名人員の大極城を経

官廳職員の縮減

服員の六幅縮減を匿るべく號意。員豫定數は確に一萬五千九十三。

を以うて複類を行む、その数

の現象を呈したのである。然る

砂索して、窓々決談図家態等の

深私立思門墨夜の理科深 (の時

ことである。これが管現するも

ませられた。東久邇宮盛厚王、同妃兩殿下 (宮家御) 謹電送

総意館が記を進めつくあつたのであ、次郷である、朝徳における本作前「胡蘭城下の實質に即應せるものた」「いては前來これが實施方派に関し」母長他の誰むべき還を覆めたする「龍卓藤的實施方派に関し」は思い、「2

育に関しても徹底せる心時非常措

日の影響において図しるが、昨十二日の影響において一致な、原順として内距のそ

-島青年動員 3考慮

られて天機ならびに御機嫌望し

抗日民軍第一

團殱滅

團長桑王山は戦死

麗しく御揃ひにて午前十時四 御慶びの盛厚王、同妃兩殿下

下が御自出度く賢所大郎の御 一座下御祝品 御清楚なるロープ・モンタント

畏し諸儀御簡素 聖旨のほご恐懼の極み

宮相謹話

書がせ給うたが、一般

二箇夜餅の御儀 御殿に御膳還あらせられた に進め書らせ、午後七時過ぎに 初め奉り御近親の方が盗摩王、は東久遠大將宮、同妃兩竅下を 既び側個用がはられますなど側叉、心里物の酸素はされを吹さなかっ 地域の加まる側を継下側用の品を、本体、時間が情域機の、現日の如きは感染が関土したなる側、で既ま残らし切があのであります。

を戦死せしめ資業が極大百二十二、参謀野海崎少佐以下百八十五名(内緒夜子名を含む)を捕

なる中島寺

| 日本 | 「日本 | 「日本

血壓中極の故障を

呈進書明説い

は統件です。
大学の中質にも駆ける
大学の中質にも駆ける

間間。 第日分 - 平野 、10日

あることで

髪下にたまひ、御鸛をたてさせ

土三日左の如く離話した 【東京電話】盛厚王、成子內親王兩殿下の輝く御結婚の禮、賢 榮ある住長を壽ぎ奉つた東

御住辰に當り東條首相謹話

られまして照宮成子内親王殿下と「摩王殿下には大正五年五月六日東 要くも東久滑宮盛草主殿下にお「牽り、ことに一幅図民は漕しく心」として陸垣大巫被に御任弘遊はさ

排

歌題主

索敵行 陸軍航空本部撰定 特許 電似器透芯

敬に違うるむ 他の方面に狙 離る温

歌基地に對し

變更致候間此段謹告仕候 豐東致候間此段謹告仕候

耐名變更謹告

ではない

大空に祈る

八年十月八日ヨリ當社、

社名ヲ左ノ通り

敢然、義務教育實施

場學徒に軍途開く

學園決戦化方策決る

第一方針

闘する 戦時非常措置方策

およびマド

第1一措置 (二)國民學校開刊三十三年 敵の軍事施設を爆砕し空間ではいては 指中の大型物 倉庫など

(四)京城帝國大學豫科、概ね海等墨校の漕倒に既じ及 島上陸 は英軍はすでに 口間到口

アソーレス諸島に上陸したと傳へ

興銀行 審査課

藥礼徒

しその脱落及雲脂を防ぎ

電話本局(3) 丘〇丘七八二 版 友 之 助

なほマドラスに到するわが豪盛は 浴びせてこれ

(一) 青年訓練所 現行青年職線所を敗逃し軍務敦備訓練

2 (本部は対象・原語などないは 多名を料・ 旧記 上 (大阪市院を行政を行政を対する) は、日本の大学校の化原産法を収 (大阪市院の原理、 (大阪市院の原理・ (大阪市院の原理・ (大阪市院の原理・ (大阪市院の原理・ (大阪市院の原理・ (大阪市院の高速・ (大阪市院を行政・ (大阪市院・ (大阪市の・ (大阪市院・ (大阪市・ (大阪市

連り實施するほか國際普及の見地からとの標案で統治者、各種家校等を管分の間存成し青年凱恩所の明治強化、

おける墨甌忠航方東は現下の半島宣僧に即應せしめるべくまつ。廿一年度から、賈施豫定の義務教育を政然災

幼鮮人學生生徒の軍務志願の途を開くてく職際電影と新潮を進むつくあることで、紫心本典派が買用されば指官政の擴充整備をと所置線化されることになった。 たま特に注意するまは在内地及び半島の文科系大學専門県

蔬菜の需給對策

しめる。自も

時下秋冷の好季節に有之候が短宮々様愈々御酒神の段素質に 協格別なる御愛顧を添し以御陰大過無く事業を機績し来り候 は属に大方諸穆御引立の場と離みて突击なる域別の意を表す る次第に御歴候然るに鬼音米英歌波非常時局に際し一時も忽 に大方諸穆御引立の場と離みて突击なる域別の意を表す る次第に御歴候然るに鬼音米英歌波非常時局に際し一時も忽 にすべき時機に非ず銃後生産剛賞粉の一端にても対は心事を 所念し響然従來の事業は一切廢業し土水建築時景で の神名義の設立登記も終了愈々土木建築諸負業に全力を傾注 し平案の御懇情に報び度き念願に御座候何卒舊に悟して一層 の御指導御機違を賜り度く御挨拶旁々御願申上候 の御指導御機違を賜り度く御挨拶旁々御願申上候

版を等折る者 て自然の奥を は無理かも知

の好季節に有る

挨

輸入が終かり

ROS

出せ一億

關係法令の説明

が、はい。自己語言語言 門事の胸 の際子用の大田明代

林土木株式會社

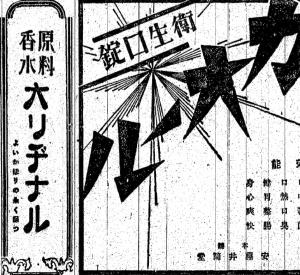
0

苦鬪惨烈、サラモア血戦・同

るところが

と撮雑してる 美を指す心な 然の氣を選び である。大い である。大い して許されぬ いのための説 ころが大いに

香原 水料 大リヂナル





野長 (十三日)

劝口中殺菌

銀

◎獨學時代來る!!

た 病込別日は か申込別日は

學制の改革を大野局長と一問一答

科學研究費を増額

と御照會

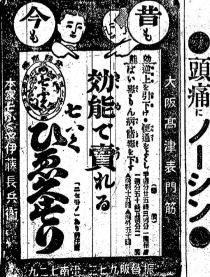


増産は戦捷へ

稻刈に聖汗の奉仕

勤勞のあと夕食の甘さ





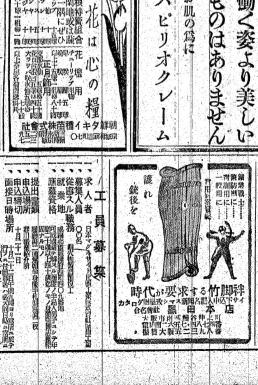
日内京井上

元天的 图告









肌の爲に

ピリオクレ







與亞,

字講座

私の治療薬を教へる病権で困る人へ 四百 學 的 現

死すとも報國

恒例の解剖祭城大で執行

便秘議 腦溢字防己 | 日本日本社会 通義町會葬護國の英靈

勝利の鍵は帰

が設蓄



油して でするの数。耐く到安田は電 でするの数。耐く到安田は電 でするの数。耐く到安田は電 でするの数。耐く到安田は電 では過ぎてきる地数のないが、一週間只 の概念を学生です。動きなから に過ぎてきる地数のな耐く を対してきる地数のな耐く を対している場合。 ・生場 ・作数で、子を選を、解学数 でな、子を選を、解学数 でな、子を選を、解学数 堂進善內宮 節網 寺寶/ 南區東市阪大

佐 D) 治して生々で… がら家庭 內

奥州齊川名産

是 中 要計理事務所 上 要計器 事務所 是 計理事務所 だ柳病専門 ・ 関係では、 ・ 関係では、 ・ 関係では、 ・ 関係では、 ・ には、 医学博士 中**橋幸馬** 西川明町四一 ※※ 電光② 1960

第一回注水競技大會終る 手練の注

與何 惡造 社

ペ災 科尿

朝口性病科

一四四七

應記

信機の 花柳病泌尿科 27、調を 温泉銀幣 27、調を 温泉銀幣

治療をゆるとを表す。

劑

ノヘ空大

等上○○三山陽香服 町屋板市山陽 店和似十课休祉會式体 **尤斯政治**

請水・楓田・「區」幅の瀬祉県和の撤穀器屋に献」ニューギニャポプナン吹において「めを稼ぶした」の大戦・岩田(に組みたる北部大湾の京山西北地・閣)稼喚 政河水・穏は、十日郊団(ソーレス南部)

むカ闘 のめ反の

撰數程

MZW

中耳炎•扁桃腺炎 物傷化腺•瓣•行 外傷化腺•瓣•行

山之內製物株式會社

中風高血壓神經痛

治不

原因を明にした

存







東久邇宮盛厚王、同妃兩殿下宮中より御退出

牢固たる決意闡明 準備進む勝利へ

熱人央域下職領別を迎へをが、政府は現間數下におけるで

今津博士の素晴しい研究

. D--

せる 端祥たちこむ大内山畏し・千代の御契り

圖崙高



海鷺ルンガを急襲雷撃

サリ

化膿症

山之内スルフアミン劑







御殊選に恐懼感激



徴兵制へ内地人側の同胞愛

圓萬三て圓三

元金単戻る

貯蓄週間に全鮮で發賣

半島文化の皇道化へ

慈仁御の下陞后皇

式達傳品賜下御に族遺九十

多額省附着上井、城一氏、朝鮮別身)及び國民級力朝鮮職盟へ



決戰 以第八一

錠で

虫を下しませう

理理の時動 齒疾追放の喜び! 類はありません。 類はありません。 単く治療して晴々 とすべきで一貫後 を複防し、張切つ た日常生活をたの しみませう/ 徒に28セン 部品素維本競石ワツミ・京東

御竣工近き扶餘神宮大山物派員記で下

、制计量于 腦

717

京畿道興 協

會

當協會員一同謹で休舘仕り候・ 十月十三日 月十四日は靖國神社招魂祭の御儀につき

毛工**养** 儀 社

胃膚式株債社公 芳證和88 社會式樣 書格八重子 常子、完全来等と 朝取一般取引員 **宗城府明治町**

る十月十四日午後三時より四時迄目宅に於て

ことをマ

川東スリ後線で、河流線を中の、遮後生不相に、一角十二日 午後八時十分 死去致し候用に前の御縁情を突謝し此段離告仕帳。 第二大学学院のであるに、「神殿の神殿大年」には「地震の神殿大年」には「神殿大年」に

山本源作商店

株式投資

でこの1日を選夜共休前

(展生前の)御厚誼を拜謝し。此段

60

精力强進劑として卓抜なる効果を發揮する!

東亞證券現物部 共に検討の像地多し富町の私 現物以代表**②六一三一**香

の衝頭は如何其安全格安に於て大明様がしかも六分保護付にて昨今

の役者隊に急遽せる朝鮮協労取中にて其間景象軍の思察体上り毕育 銀行預金に 勝る朝證株